

資双方ヲ交互招致シ解決促進ニ努メタル結果社長大和真太郎ハ要求条件中ノ復職云々ノ条項ヲ考慮ノ上比較的善良ナル公子ハ復職セシメル意留ニシテ近々中解決腹案ヲ提示スル模様ナリ

二、労働者側

争議団ハ依然内部ノ統制不充分ニシテ僅カニ組合本部員等ノ應援ノ下ニ結束ヲ計リ文書戰或ハ社員ノ自宅訪問ヲ為ス等解決ヲ切望シツ、アル状況ニシテ二十日ニハ洋モス支部協議會ヨリ白米二俵ノ寄贈ヲ受ケ荷車ニテ運搬中ニ會社表門ニ殺到シ扉ヲ破損シテ一時信外一〇名ヲ檢求取調中

三、應援状況

社民大衆、労働、各無産政党ノ本部支部分會ニ於テハ共同應援委員會ヲ組織シ應援演說會ヲ開催シ或ハビラ、ニュース等ヲ發行シテ應援シツ、アリ

右及中(通)報候也

6. 7 21
7068

勞社第一四六號

昭和六年一月十九日

警視總監丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿
社會局長 官殿
各廳府縣長官殿 (八六廳有恩)

○ 大和ゴム製作所労働争議ニ関スル件 (第六報)
既報標記労働争議前報後ノ状況左記ノ通

記

一、事業主側

事業主ノ態度ハ前報後依然頗ル強硬ニシテ争議團側ノ要求ニ對シ一步モ譲歩セズ且ツ争議ニ對シ何等具體的対策モ構セズ